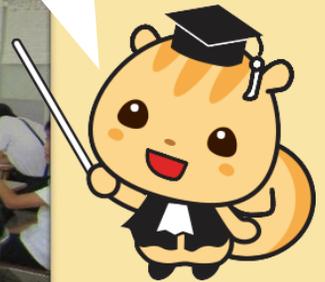




わかったかな？



令和5年9月13日、阿波市立八幡小学校にて、同校6年生18名を対象にした出前教室を実施しました。

出前教室では、若手検事が「検察庁の役割や検察官の仕事」などを説明したほか、本物の手錠や防刃チョッキに触れてもらいました。

講師の若手検事が気さくに話していたこともあって、終始和やかな雰囲気の中で、検察庁について理解を深めていただきました。

また、本物の手錠にも興味津々でした。

後日、生徒の皆さんから感想をいただきましたので、その一部を紹介させていただきます。

八幡小学校6年生の皆さん、担任の先生、ありがとうございました！（検察広報官）

- 検察庁の仕事はとてもむずかしそうだなと思いました。
- 検察庁の仕事は、犯人の取り調べや被害者・目撃者の事情聴取、証拠の検討、裁判の準備・立会などということがわかりました。
- 今日検察庁の話聞いて、とってもかっこいい仕事だし、大変な仕事だと思いました。あと、また、来てほしいなと思いました。
- 印象に残っていることは、なぜ検察官も同じ人から聞くか、検察官は、犯人の処分を決めるに当たって、本当に犯人だったのか、真実はどうなのか、直接確認する必要があることが残りました。
- 今まで検察と警察のちがいが、いまいちわからなかったもので、ちがいについて知れて良かったです。

などなど、他にもたくさんの感想をいただきました。ありがとうございました。



みんなどうも  
ありがとう！

